

## 人間生活学専攻 研究指導内容及び指定受験科目一覧

指導教員

上野 顕子

UENO Akiko

指定受験科目

生活経営学

## 研究指導内容 家庭科教育学、家族関係学

家族また家族員としての個人に関する諸相を捉え、家族をめぐる生活課題やその背景にある社会構造を探究する。また、それらを学校教育の中で扱っていく家庭科教育のあり方について研究する。

■研究経歴／The University of Alberta, The Faculty of Graduate Studies and Research, Department of Secondary Education 修了。Doctor of Philosophy in Secondary Education。

■所属学会／日本家政学会、日本家政学会家族関係学部会、日本家庭科教育学会、日本家族社会学会、国際家政学会。

■研究業績／(著書)「平成29年改訂中学校教育課程実践講座 技術・家庭」(共著、株式会社ぎょうせい、2017。

(著書)「新しい技術・家庭 家庭分野 自立と共生を目指して」(中学校技術・家庭家庭分野検定教科書) (共著、東京書籍、2021。

(論文)「Instructional Activities of Multicultural Education in Canadian Home Economics: A case of Secondary School Education」(共著)、『家庭科教育学会誌』61(2)、2018。

(論文)「知的障害のある生徒に対するネットショッピング指導の現状と教材開発に向けた課題の把握—A県における特別支援学校高等部家庭科担当教員のフォーカスグループインタビューより—」(共著)、『消費者教育』40、2020。

指導教員

宮坂 靖子

MIYASAKA Yasuko

指定受験科目

生活経営学

## 研究指導内容 家族社会学、ジェンダー研究

家族、及びジェンダーに関する社会的現象に、比較社会学・歴史社会学の方法を用いてアプローチする。近年は、近代家族から脱近代家族への変動を家族のケア役割と情緒規範に焦点を当てて解明することを試みている。

■研究経歴／お茶の水女子大学大学院人間文化研究科人間発達学専攻博士後期課程単位取得退学、博士(社会科学)。

■所属学会／日本家族社会学会、日本社会学会、家族問題研究学会、比較家族史学会、日本家政学会、日本家政学会家族関係学部会、国際家政学会。

■研究業績／(著書)「避妊言説と家族の親密性」(単著、書肆クラルテ、2020。「アジアの家族とジェンダー」(共著、勁草書房、2007。

(論文)「家族の情緒化と『専業主婦』規範—専業主婦の日中比較—」『社会学評論』256、2014。「家族の近代化・脱近代化と子育て—ケアネットワークと情緒規範からのアプローチ」『家族関係学』37、2018。

指導教員

平林 由果

HIRABAYASHI Yuka

指定受験科目

被服環境学

## 研究指導内容 被服生理学、生活健康学

被服は最も身近な環境であり、人の健康に直接影響を及ぼす。ヒトの生理反応(体温調節反応、心拍変動、脳波など)を分析することで、環境を評価し、個々の身体特性に配慮しつつ、高齢者や障がい者も含めたあらゆる人にとって快適で健康な生活環境のあり方を追究する。

■研究経歴／奈良女子大学大学院家政学研究科修士課程被服学専攻修了。愛知医科大学医学部助手。医学博士。

■所属学会／日本家政学会、日本繊維製品消費科学会、日本衣服学会、日本生理人類学会、日本人間工学会。

■研究業績／(論文)「高齢者とおしゃれ」日本衣服学会誌、2020。

(論文)「若年女性の香りに対する意識と実態」金城学院大学消費生活科学研究所紀要、2019。

(論文)「においの快・不快が生理反応に及ぼす影響」金城学院大学消費生活科学研究所紀要、2018。

(論文)「オストメイトの衣生活に関するアンケート調査および衣服提案」日本衣服学会誌、2017。

(論文)「おしゃれが心身の高揚効果に及ぼす影響 —唾液中のストレスホルモン分析による検討—」繊維製品消費科学、2012。

(著書)「アパレルと健康」日本家政学会被服衛生学部会編 井上書院、2012。「被服学事典」(共著)朝倉書店、2016。

指導教員

北森 一哉

KITAMORI Kazuya

指定受験科目

食品栄養科学

## 研究指導内容 予防栄養学

生活習慣病の予防・改善に着目している。生活習慣病は増加しており、その対策は望まれているが遅々としている。非アルコール性脂肪性肝疾患の病態メカニズムの解明・栄養素による予防改善効果の検討を行う。

■研究経歴／神戸学院大学大学院修士課程修了。名古屋大学研究生 博士(医学)。

■所属学会／高血圧関連疾患モデル学会、日本栄養改善学会、日本栄養食糧学会。

■研究業績／(論文) High-fat and high-cholesterol diet decreases phosphorylated inositol-requiring kinase-1 and inhibits autophagy process in rat liver. Sci Rep. 2019 Aug 29;9(1):12514.

(論文) The antihypertensive agent hydralazine reduced extracellular matrix synthesis and liver fibrosis in nonalcoholic steatohepatitis exacerbated by hypertension. PLoS One. 2020 Dec 14;15(12):e0243846.

## 人間生活学専攻 研究指導内容及び指定受験科目一覧

指導教員

丸山 智美

MARUYAMA Satomi

指定受験科目

食品栄養科学

## 研究指導内容 加齢栄養学

ヒトのライフステージに焦点をあて、成長や発育・妊娠や分娩・加齢などによる影響を栄養学見地から検討する。とくに、実践栄養学においての科学的根拠の構築を行うために環境や社会的・文化的影響を分析し考究する。

■研究経歴／昭和女子大学大学院生活機構研究科修了。博士(学術)。

■所属学会／日本栄養改善学会、日本公衆衛生学会、日本臨床栄養学会、日本思春期学会、日本更年期医学会。

■研究業績／(論文) The Operation System of School Lunches in Japan: System Construction Considering. *The Japanese Journal of Nutrition and Dietetics*. 2018

(論文) Effects of health education using lunch and diet education media in employee canteen for Japanese workers.

*Annals of Nutrition & Metabolism* 75 / suppl.3. 404. 2019

指導教員

渡辺 恭子

WATANABE Kyoko

指定受験科目

臨床心理学  
芸術療法学

## 研究指導内容 臨床心理学、芸術療法

1. 統合失調症患者を対象とした心理療法の研究
2. 認知症疾患患者を対象とした心理療法の研究
3. 音楽聴取による心理学的・生理学的変化に関する研究

■研究経歴／名古屋大学大学院教育学研究科発達臨床学専攻博士課程後期課程修了。教育学博士。

■所属学会／日本音楽療法学会、日本芸術療法学会、日本心理臨床学会、日本音楽教育学会、日本集団精神療法学会、日本老年精神医学会。

■研究業績／『老年期の心理査定と心理支援に関する研究』(単著) 風間書房。『慢性期統合失調症患者における音楽療法評価表の有用性について』(共著) 臨床精神医学。『老年期認知症患者を対象とした音楽療法に関する研究』(単著) 風間書房。『音楽療法総論』(単著) 風間書房。『芸術と芸術療法』(編著) 風間書房。『心理臨床における他職種との連携と協働』(共著) 岩崎学術出版社。

指導教員

北折 充隆

KITAORI Mitsutaka

指定受験科目

社会心理学

## 研究指導内容 社会心理学、交通心理学

1. 対人関係、コミュニケーションに関する研究
2. 社会問題に関する心理学的観点からの研究
3. 交通行動に関する心理学的観点からの研究

■研究経歴／名古屋大学大学院教育発達科学研究科教育心理学専攻博士課程後期課程修了。博士(教育心理学)。

■所属学会／日本心理学会、日本社会心理学会、日本グループダイナミクス学会、日本応用心理学会、日本交通心理学会、法と心理学会。

■研究業績／『違反抑止メッセージが社会規範からの逸脱行動におよぼす影響について -大学構内の自転車の駐輪違反に着目したフィールド実験-』(共著) 実験社会心理学研究。『歩行者の信号無視と交差点の認知バイアスとの関連について -主観的評価と推定認知の観点から-』(単著) 交通心理学研究。『社会規範からの逸脱行動に関する心理学的研究』(単著) 風間書房。『ルールを守る心 - 逸脱と迷惑の社会心理学』(単著) サイエンス社。

指導教員

川瀬 正裕

KAWASE Masahiro

指定受験科目

臨床心理学

## 研究指導内容 臨床心理学、心理療法、心理検査法

1. 発達障害の子どもと家族に対する援助
2. 子どもから思春期の精神発達と臨床心理学的問題の理解と援助
3. 学校、保育園、幼稚園、福祉施設などと心理臨床的活動の連携
4. 発達障がい児への学習支援・教材および教授法の研究

■研究経歴／1981年国際基督教大学大学院教育学研究科教育心理専攻。教育学修士。

■所属学会／日本心理臨床学会、日本児童青年精神医学会、日本心理学会、日本教育心理学会、日本青年期精神療法学会。

■研究業績／『こころとかかわる臨床心理(第3版)』(共著) ナカニシヤ出版。『これからのこころの援助』(共著) ナカニシヤ出版。『医療の中の心理臨床』(共著) 新曜社。『統合保育の展開』(共著) コレール社。『21世紀の心理臨床』(共編) ナカニシヤ出版。

## 人間生活学専攻 博士課程(後期課程) 授業科目の内容

**消費者科学特殊講義Ⅰ**

家庭科教育に関する内容で博士論文作成のために必要な文献の解説・講読を行う。家庭科教育をめぐる学問的展開や課題を理解する。テーマは、学生の関心により設定する。

**消費者科学研究演習Ⅰ**

家庭科教育に関する研究テーマを主題として、学生各自の研究テーマに沿って具体的題目を設定し、研究を進める。特に家族をめぐる今日の課題について家庭科教育の中でどのように扱っていくかを考究していく。研究成果は、学会発表及び学術論文執筆につなげていく。

**消費者科学特殊講義Ⅱ**

健康寿命の延伸のため、健康の保持・増進、生活習慣病の発症・重症化予防、高齢者の低栄養・フレイル予防の関係性を栄養・食生活面から疫学的、基礎的に理解し論理的に考察することを目的とする。

**消費者科学研究演習Ⅱ**

消費者として生活に必要な栄養・食生活分野において、学位論文を執筆する。研究テーマを具体的に形にするため、文献読解、計画、実験、結果考察、執筆へつなげていく。

**消費者科学特殊講義Ⅲ**

生活文化、家族、ジェンダーに関する社会的事象に、家族社会学・比較社会学・歴史社会学等の方法を用いてアプローチするための基本的知識、方法論、スキルを修得する。講義は参加者の報告とディスカッションを基本とする。

**消費者科学研究演習Ⅲ**

生活文化、家族、ジェンダー等に関する研究テーマを設定し、博士論文を執筆することを目的とする。各自のテーマに沿って研究計画を立て、適切な研究方法を用いて研究を進め、学会発表や学会誌などへの論文投稿を目指すなど業績を蓄積していく。

**人間環境学特殊講義Ⅰ**

生活の質および環境の影響により決定される現代のヒトにおける栄養問題および現状について栄養学および食生活の視点から、健康を指標として考究する。変化する環境の中で、ヒトが「食べる」ということはどのような意味をもつのか、を健康科学的手法で論理的に構築できるようにすることを目的とする。

**人間環境学研究演習Ⅰ**

人間環境学および加齢における栄養学の領域で博士論文を執筆することを目的とする。研究計画に沿って、文献講読、学会発表、論文投稿を進める。

**人間環境学特殊講義Ⅱ**

人間に最も近接な環境である衣環境は快適で質の高いものであることが望まれる。現在の衣服およびテキスタイルに関する課題や研究状況を文献等を講読しながら理解し、衣環境に求められる課題について考究する。

**人間環境学研究演習Ⅱ**

衣環境は人間に最も近接な環境であり快適で質の高いことが望まれる。本演習では、論文等を講読し快適で質の高い衣環境を実現するために求められる課題を博士論文のテーマに設定し、解決に導く方法を探求する。本演習では、衣環境の中の衣服・インテリア素材、衣服設計・造形の分野についてのテーマを取り上げる。

**人間環境学特殊講義Ⅲ**

人間を取り囲む被服環境、住環境は、人の快適性に影響を及ぼす。本講義では、体温調節反応や心拍・脳波などの生理反応と健康との関わりから、それぞれの人の快適状況と課題について考究する。

**人間環境学研究演習Ⅲ**

生活環境において、その人の快適性と生理・心理反応との関係を追究する領域で博士論文を執筆することを目的とする。各自のテーマに沿って研究計画を立てて研究を進め、学会発表、論文投稿を目指す。

**人間環境学特殊講義Ⅳ**

くすりの種々の剤形について、その剤形を採用している意義・長所、製造技術、構成粒子の具備すべき物性、医薬品添加剤等について考える。本講義は大学院前期課程の消費生活特論Ⅻの内容をさらに深めたものである。

**人間環境学研究演習Ⅳ**

各種剤形からの医薬品の放出を促進したり遅延させたりすることを中心に研究することにより、医薬品の剤形の処方設計や、医薬品および医薬品添加剤の物性の評価を行うことができるようにする。

**人間発達学特殊講義Ⅰ**

受講者は社会心理学に関する最近の研究の中から関心のある論文を選び、発表し、討論し合う。また、新しい研究手法や視点の獲得について検討する。教員は毎回の授業で必要に応じて、適宜説明や講義を行う。

**人間発達学研究演習Ⅰ**

人間発達学の中でも、交通・社会心理学の分野で博士論文を執筆することを目的とする。各自の研究テーマに沿って研究計画を立て、適切な研究方法を用いて博士論文を作成するために、各年度で研究の進捗状況を確認しながら、確実に業績を蓄積できるよう指導する。

**人間発達学特殊講義Ⅱ 非開講****人間発達学研究演習Ⅱ 非開講****人間発達学特殊講義Ⅲ**

人間発達学の中でも特に心理療法や芸術療法に焦点を絞り、障害児・者領域、精神科領域、高齢者領域、緩和ケア領域における最近の動向を検討する。さらに、心理療法や芸術療法の様々な研究方法を習得し、その研究方法が使用された研究論文を講読することによって、効果を検証するにはどのような手法を使用するのが最適なのかを明らかにする。

**人間発達学研究演習Ⅲ**

心理療法や芸術療法に関する博士論文執筆のために必要な指導を行い、博士論文を作成することを目的とする。具体的には研究テーマの設定、予備調査・本調査の実施、学会発表、研究論文の投稿が行えるように、様々な角度から指導する。

**人間発達学特殊講義Ⅳ**

人格発達に関する研究実践の基礎的な知識と研究方法論の習得をめざす。「心理学研究」「教育心理学研究」「心理臨床研究」などの雑誌論文を取り上げて、研究の動向、研究方法、背景となる理論などの学習を行う。

**人間発達学研究演習Ⅳ**

人格発達過程学における院生のテーマに関して、研究動向を含めて文献研究と研究方法論の吟味を目的とする。毎年度論文を作成し、その作業を通して学位論文へとつなげていく。